

修正箇所	修正前	修正後	修正理由
P5	第3章 ・パートナーシップで支える各主体の役割	第3章 ・パートナーシップを支える <u>市民・事業者・市</u> の役割	文言修正。
P10	2 環境をめぐる国内外の動向 2011（平成22）年の生物多様性条約第10回締約国会議～（略）～	2 環境をめぐる国内外の動向 <u>2010</u> （平成22）年の生物多様性条約第10回締約国会議～（略）～	記載誤りのため修正。
P13	また、環境・経済・社会の統合的向上は、環境行政を推進するうえでも重要な視点であることから、本計画においても、SDGsの考え方を盛り込んでいくことが必要となっています。	<u>また、SDGsウェディングケーキモデルでは、17のゴールは、生物圏・社会圏・経済圏の3つの階層で構成されており、持続可能な社会、経済は、健全な環境の土台なしでは成り立たないことが表現されています。持続可能な社会を実現するためには、環境・社会・経済の統合的向上に向けて、多様な主体のパートナーシップで取り組むことが必要となっています。</u>	より分かりやすくするために内容を修正。
P14	本市では、人口減少や高齢化による地域コミュニティの希薄化が進み、各地域や産業等にお	<u>国の第五次環境基本計画では、持続可能な社会の実現に向けて、「地域循環共生圏」を創造していくことが掲げられています。地域循環共生圏とは、各地域がその特性を活かした強みを発揮し、地域ごとに異なる資源が循環する自立・分散型の社会を形成するとともに、他の地域との自然的なつながりや、経済的なつながりを構築していくことで、新たなバリューチェーンを生み出し、地域資源を相互に補完し、支え合いながら、農山漁村も都市も活かすという考え方です。</u> <u>本市では、人口減少や高齢化の進行等の影響を背景に、各地域や産業等における担い手不足が深刻化しており、環境分野においても、自然と人のつながりや適切な関わりが減少し、恵み豊かな自然が持つ多面的機能の維持・発揮が</u>	より分かりやすくするために内容を追記。 文言の修正。

	<p>ける担い手不足が深刻化してきています。</p> <p>これまで人の手が入り適切に管理されてきた自然資源が人口減少による担い手不足のため放置される森林や里山、農地などが増え、良好な環境の状態を保つことができなくなっているのが現状です。このような環境の良好な状態を保つために、環境だけでなく、社会・経済の視点も含めた統合的向上を図る取組が必要となっています。</p> <p>本市においても、国の第五次環境基本計画で示された「地域循環共生圏」の考え方を活用して、中山間地域と都市部が互いに足りないものを補完しながら支え合い、地域資源が循環することで、環境・社会・経済の統合的向上を図る取組の創造が必要となっています。</p>	<p><u>課題となっています。</u></p> <p><u>持続可能な社会・経済は、健全な環境のうえに成り立っているという認識のもと、中山間地域と都市部が互いに足りないものを補完しながら支え合い、各地域同士が共生していくことで、地域経済の循環を促し、環境・社会・経済の統合的向上を図る「高知市版地域循環共生圏」を創造していくことが必要となっています。</u></p>	
P15	ゼロカーボンシティ表明書	<u>～「脱炭素社会」と「カーボンニュートラル」とは～</u> <u>～「ゼロカーボンシティ」とは～</u>	審議会での意見を受け、説明を追記。
P19	—	<u>写真の挿入</u>	—
P21	<p>基本目標5</p> <p>環境の保全及び創造の取組を推進するためには、市民一人ひとりの環境を大切にする意識を高め、自主的かつ積極的な行動につなげていくことが重要です。あらゆる世代が環境学習や環境啓発に参画し、多様な主体のパートナーシップによって、地域活動に取り組み、みんなで環境の保全・創造に取り組む社会を目指します。</p>	<p>基本目標5</p> <p><u>日々の生活や経済活動を支える健全な環境を将来の世代へ引き継いでいくため、持続可能な社会の担い手を育てるとともに、</u>多様な主体のパートナーシップによって、環境の保全・創造に取り組む社会を目指します。</p>	より分かりやすくするため、内容を加筆。
P22	環境・経済・社会	環境・ <u>社会・経済</u> へ変更	文言の統一。
P23	—	「行動」へ、 <u>企業活動における環境への貢献</u> を追加。	審議会での意見を受け、文言を

			追記。
P24	5 脱炭素型の暮らし・まちづくり ③環境にやさしい移動手段と効果的なまちづくりの推進	5 脱炭素型の暮らし・まちづくり ③環境にやさしい移動手段と <u>効率的</u> なまちづくりの推進	文言修正。
P25	代表的な指標 5つの基本目標における～（略）～環境・経済・社会の総合的な～（略）～	代表的な指標 5つの基本目標における～（略）～環境・ <u>社会・経済</u> の総合的な～（略）～	文言の統一。
P31	②森林の保全 ●間伐や再造林，～（略）～，森林の多面的機能が高度に発揮されるように取り組みます。	②森林の保全 ●間伐や再造林，～（略）～，森林の <u>持つ</u> 多面的機能が高度に発揮されるように取り組みます。	文言修正。
P31	コラム～鏡川流域関係人口創出に向けて取組を始めました～	コラム～鏡川流域関係人口創出に向けて <u>取り組んでいます</u> ～	文言修正。
P32	コラム～森林環境譲与税～ 「森林環境譲与税」は，～（略）～2019（令和元）年から，市町村と都道府県に対して，私有林人工林面積，林業就業者数及び人口による客観的な基準で按分して譲与されています。 森林環境譲与税は，森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に基づき，～（略）～本市においても，～（略）～	コラム～森林環境譲与税～ <u>森林環境譲与税は，～（略）～2019年度より，市町村と都道府県に対して譲与されています。</u> <u>法律に基づき，～（略）～</u> 本市では，～（略）～ <u>写真の追加</u>	審議会意見を受け，内容を加筆。
P35	②野生生物の保護 ●傷病鳥獣の保護など野生生物の保全活動や希少動物の繁殖等により，～（略）～	②野生生物の保護 ●傷病鳥獣の保護など野生生物の保全活動， <u>希少動物の繁殖等による</u> ～（略）～	文言修正。
P36	コラム～生物多様性～	コラム～生物多様性とは～ <u>内容及び写真の追加</u>	—
P39	コラム～食品ロス削減に向けた「商慣習の見直し」～	コラム～食品ロス削減に向けた「 <u>3分の1ルール</u> の見直し」～	審議会意見を受け，文言修正。

P41	コラム～2050年、海の中のプラスチックが魚の量を超える！？～	コラム～ <u>わが国最大規模の産業廃棄物不法投棄事件，豊島事件</u> ～ 内容及び写真の追加	—
P42	—	コラム～ <u>2050年、海の中のプラスチックが魚の量を超える！？</u> ～ 内容及び写真の追加	—
P44	取組方針 ～(略)～環境にやさしい移動手段の利用を促進や、～(略)～	取組方針 ～(略)～環境にやさしい移動手段の利用 <u>の</u> 促進や、～(略)～	文言修正。
P44	主な関連計画など	主な関連計画など ・ <u>高知市森林整備計画</u> の追加	関連計画の追加。
P45	①脱炭素型のライフスタイルや事業活動の普及促進 ●家庭や事業所などへの省エネルギー性能の高い機器・設備の導入を促進します。	①脱炭素型のライフスタイルや事業活動の普及促進 ●家庭や事業所などへの省エネルギー性能の高い機器・設備の <u>普及</u> を促進します。	文言修正。
P46	◆本市の現状と課題 エネルギー利用における温室効果ガス排出量の削減に向けて、地域内の再生可能エネルギーの発電自給率向上や災害対応力の強化のため、再生可能エネルギーの活用が求められています。	◆本市の現状と課題 <u>再生可能エネルギーは、温室効果ガスを排出せず、国内で生産できることから、</u> エネルギー利用に伴う温室効果ガス排出量の削減や、 <u>市域における</u> 再生可能エネルギーの発電自給率向上 <u>に向けて、</u> 活用が求められています。	審議会意見を受け、文言修正。
P46	主な関連計画など	主な関連計画など ・ <u>高知市森林整備計画</u> の追加	関連計画の追加。
P47	②家庭及び事業者における再生可能エネルギーの利用促進 ●再生可能エネルギー設備の導入や～(略)～ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)やZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及	②家庭及び事業者における再生可能エネルギーの利用促進 ●再生可能エネルギー設備の導入や～(略)～ <u>ZEH</u> や <u>ZEB</u> の普及促進に取り組みます。	記載方法の修正。

	促進に取り組みます。		
P47	コラム～高知市ゼロカーボンシティ宣言～	コラム～ <u>ゼッチ・ゼブ</u> とは～	内容の変更。
P48	◆個別指標	◆個別指標 ※ <u>計画策定時点では個別指標を設定していませんが、科学的知見や気候変動による影響，国・県の動向を注視しながら，個別指標を設定します。</u>	注意書きの追加。
P55	コラム～緑視率と緑被率～	コラム～緑視率と緑被率～ <u>内容の修正及び図の追加</u>	内容の修正。
P57	環境の保全及び創造の取組を推進するためには、市民一人ひとりの環境を大切にする意識を高め、自主的かつ積極的な行動につなげていくことが重要です。あらゆる世代が環境学習や環境啓発に参画し、多様な主体のパートナーシップによって、地域活動に取り組み、みんなで環境の保全・創造に取り組む社会を目指します。	<u>日々の生活や経済活動を支える健全な環境を将来の世代へ引き継いでいくため，持続可能な社会の担い手を育むとともに，</u> 多様な主体のパートナーシップによって、環境の保全・創造に取り組む社会を目指します。	より分かりやすくするため、内容を加筆。
P58	施策の目指す姿 子どもから大人まで、～（略）～環境に配慮した行動ができる状態であること	施策の目指す姿 子どもから大人まで、～（略）～環境に配慮した行動が <u>とられている</u> 状態であること。	文言修正。
P60	◆本市の現状と課題 平成30年4月に策定された・・・を踏まえながら、環境・経済・社会の統合的向上を具現化するものとして、・・・示されました。	◆本市の現状と課題 平成30年4月に策定された・・・を踏まえながら、環境・ <u>社会・経済</u> の統合的向上を具現化するものとして、・・・示されました。	文言の統一。
P61	①環境を守り次世代へつなぐ地域づくり ●新たな人の流れをつくり、地域活動の維持・活性化に取り組みます。	①環境を守り次世代へつなぐ地域づくり ●新たな人の流れをつくり、 <u>地域での支え合い活動や経済的活動</u> の維持・活性化に取り組みます。	文言修正。
P62	—	コラム～ <u>地域ぐるみで集落を支え合う高知市版集落活動センター</u> ～ <u>内容及び写真の追加</u>	コラムの追加。

P67	-	第6章 資料編の追加	-
P92, 93	<p>代表的な指標, 個別指標</p> <p>◎搬出間伐の材積 直近値: 2,480m³ (2015~2019年度の平均値)</p> <p>○最終処分場の残余年数 目標値: 20年以上の維持 直近値: 2054 (R36) 年度まで</p> <p>◎市域の温室効果ガス排出量 直近値: 1,827千t-CO₂ (2018年度)</p> <p>○市域の電力消費量 目標値: 1,762GWh (2030年度) 直近値: 1,708GWh (2020年度)</p> <p>○市域における再生可能エネルギー発電自給率 直近値: 21% (2020年度)</p> <p>○海域水質の環境基準達成率</p> <p>○大気質の環境基準達成率</p> <p>○緑被率 直近値: 16.7% (2020年度)</p> <p>○町内や地域で行われる活動に参加する市民の割合 直近値: 43.2% (2020年度)</p> <p>○市民活動サポートセンターの利用団体数</p>	<p>代表的な指標, 個別指標</p> <p>・ <u>指標の方向性・基準値の追加。</u></p> <p>・ 指標の修正</p> <p>◎搬出間伐の材積 直近値: <u>922m³ (2021年度)</u></p> <p>○最終処分場の残余年数 目標値: 20年以上の維持 (<u>2032年度</u>) 直近値: 2054 (R36) 年度まで (<u>2019年度</u>)</p> <p>◎市域の温室効果ガス排出量 直近値: <u>1,620千t-CO₂ (2019年度)</u></p> <p>○市域の電力消費量 目標値: <u>過去5年間の最小値を下回る量 (2030年度)</u> 直近値: <u>1,549GWh (2019年度)</u></p> <p>○市域における再生可能エネルギー発電自給率 直近値: <u>22% (2019年度)</u></p> <p><u>削除</u></p> <p><u>削除</u></p> <p>○緑被率 直近値: <u>14.6% (2020年度)</u></p> <p>○町内や地域で行われる活動に参加する市民の割合 直近値: <u>45.7% (2022年度)</u></p> <p><u>削除</u></p>	<p>-</p> <p>審議会意見を受け, 指標の見直し。</p> <p>一部, 数値の修正。 (P92, 93の2 代表的な指標, 個別指標一覧を参照)</p>